

特定非営利活動法人会津ワイナリー会  
2019年度事業報告

## 1. 会員勧誘活動

- ・ 目標会員数 正会員 新勧誘目標 15名 ⇒実績 23名（賛助→正会員7名含む、累計112名）  
賛助会員 新勧誘目標 35名 ⇒実績 14名（累計90名） 以上 12.24時点
- ・ 目標会費額 正会員・賛助会員合計 目標 192万円 →実績 184.5万円
- ・ 広報活動 ホームページからの情報発信 ⇒「新着情報」等を強化し計45回発信と倍増  
ワイナリーアクセスマップ、全国ワイナリーマップ等内容充実

## 2. ぶどう栽培活動

- ・ ぶどう苗作付 苗 100本購入し、新規2反に70本作付け。残り30本を他の畑に補植
- ・ ぶどう畑管理 計9反、計354本を栽培管理、収穫量：約2.8トン（1～5号畑合計）  
定植、誘引、薬剤散布、レインカット施工（新規2反）、ビニール掛け、剪定等  
⇒福島県下多雨・猛暑等の天候不良に見舞われたが、1～5号畑の育成は良好であったが、6月のベト病、9月上旬の灰カビ病・白腐れ病が蔓延し収穫が約25%減じた。鳥害は防鳥ネット施工により大きな被害はなかった。  
⇒対策としては、草刈り機購入、頻繁な施工による畑の乾燥を維持、送風機購入による秋雨時期の通風などを実施する。
- ・ 栽培体制 一条悟氏の指導により渡辺博仁氏に栽培、薬剤散布を委託した。また、会員を対象としたグリーンツーリズム、栽培体験（ボランティア）の機会を増やした。  
⇒渡辺さんに加え、新たに橋本竜太郎さんに栽培委託する体制ができた。一方、ボランティア時間が2018年比2倍の1250時間に及び、一部作業（剪定、ビニール掛け）はハードな作業となり、旅費等もかさむことから参加者が漸減した。  
⇒渡辺さん橋本さん2名による作業体制を強化し、ボランティア体制を再考する。

## 3. イベント活動

- ・ 第1回グリーンツーリズム（4.6-7 植樹祭）→首都圏23名を含め36名参加
  - ・ 第2回・第3回グリーンツーリズム（5.12/26 ビニール掛け）→首都圏18名を含め計24名参加
  - ・ 第4回グリーンツーリズム（8.24-25 ネット張り、糖度確認）→首都圏8名を含め9名参加
  - ・ 第5回グリーンツーリズム（9.16/22 収穫祭）→首都圏23名を含め計40名参加
  - ・ 第6回グリーンツーリズム（ワイン祭、ビニール撤去）→台風で中止
  - ・ 第7回グリーンツーリズム（11.23-24 剪定、ネット上げ）→首都圏8名を含め14名参加
- 以上6回のグリーンツーリズムに合計123名が参加（会津24名浜・中通り19名首都圏80名）
- ・ 第1回ワイナリーツーリズム（5.19 ラベル貼、甲州ワイナリー）→14名参加
  - ・ 第2回ワイナリーツーリズム（6.8 長野東御ワイナリー）→17名参加
  - ・ 第3回ワイナリーツーリズム（12.15 秩父/甲州ワイナリー）→21名参加 以上合計52名参加

## 4. 助成金等の確保

- ・ 第3回うつくしま基金応募→採択（19年度補助金：92万円）
- ・ 福島フォレスト補助金応募→採択（19年度補助金：18万円）

## 5. ワイン委託醸造

- ・ 秩父兎田ワイナリーへ約1.1トン委託。9.17 納品・仕込、2月瓶詰、2.29 ラベル貼・発送
- ・ 甲州大和葡萄酒へ約1.7トン委託。9.23 納品・仕込（樽2）、3月瓶詰、4月ラベル貼・発送予定

## 6. ワイナリー建設検討委員会

- ・会員の英知を結集し2022年ワイナリー建設の企画・事業計画を複数案提案することを目的に、高見章委員長および5名の委員を選出しワイナリー建設検討委員会を運営
- 1) 専門書、全国ワイナリーヒアリングによる成功要因整理
- 2) ①外部資本導入による早期株式会社化②会員ファンディングによる2022年株式会社化③5年程度のNPO活動継続と体制強化の3案の評価
- ① 評価不能：外部の出資予定者から確たる情報提供がない。NPO解散決議のための残余資産評価、法令上株式会社へ譲渡が認められないことのスキーム不明のため
- ② リスク過大で時期尚早：持続性、後継問題、販売可能性、リスク管理、コスト効率等への確証がない。事業収支が甘く現実性にかけるため
- ③ 緊急避難策として妥当：現状課題をまとめNPO中期経営計画をまとめること

## 7. その他未達事項

- ・畑周辺に活動の拠点となり倉庫兼会員の休憩所となる施設の確保（従来の小屋で対応）
- ・ICT農業、IoT活用を目指した地元大学（会津大学、福島大学新設学部等）とのネットワーク形成
- ・先進ワイナリーや福島県内既存ワイナリーとの醸造技術連携
- ・醸造技術にかかわる研究開発補助金の獲得

## 8. 理事体制

- ・昨年末時点で、大越 康弘、後田 明男、根本 一次、森田 真弘の4名の理事および大塚 信夫 監事より辞任の意向を受けた。

以上